

開山祭の開催をアルプホルンの演奏で祝いました

開山を祝って音楽が響く

残雪の裏岩手連峰開山祭

残雪の裏岩手連峰開山祭 (同実行委員会主催) が、 6月17日、松川温泉河畔広場で開かれました。

この祭は、八幡平から岩手山へと連なる裏岩手連峰の開山を祝う目的で、今回が初開催。花巻東高校吹奏楽部が演奏するアルプホルンや、ひらやまよりこさんの奏でるアルパ(ハープの一種)の音色が、会場に響きわたりました。また、平舘高校の生徒で結成されたコーラス隊は、名誉市民の江間章子さん作詞の「夏の思い出」などを披露し、来場者は山と音楽を楽しみました。

緑豊かな森を夢見て植樹

第10回「八幡平・ふるさとの森づくり」

第10回「八幡平・ふるさとの森づくり」(NPO法人森びとプロジェクト委員会・みちのく事務所主催)が6月9日、旧松尾鉱山跡地・元山堆積場で行われました。

当日は、不安定な天候のなか、関係者を含め約200人が参加。ミズナラやコナラなど18種、約3,000本の苗木を植樹しました。今回で3回目の参加という滝沢村の熊谷涼太くんは、「水が溜まってしまって、植樹できないときもあった。今年は開催出来て良かったです」と参加の喜びを語りました。



緑豊かな森になることを期待して植樹しました



五日市橋付近でアユの稚魚を放流する子どもたち

触れ合い通し自然を学ぶ

安比川でアユの稚魚放流

安代小学校(坂東肖子校長、児童122人)の1年生18 人が6月11日、安比川へアユの稚魚を放流しました。

放流には、稚魚の提供元である南部馬淵川漁協の工藤篤組合長も参加。児童は、アユの生態と川の環境保全について説明を受けました。その後、「早く大きくなってね」などと声を掛けながら、約20[†]ログラの稚魚を川へ送り出しました。今井天楽君は「触ってみたら、するすると逃げて行った。生きているという感じがした」と稚魚との触れ合いを楽しんでいました。

すなっぷギャラリー



平舘高生が市内で職場実習(6月 13日、大更保育所)



市内からも参加した全日本還暦軟式野球大会(6月9日、市総合運動公園)

360度のパノラマを堪能

新日本百名山・七時雨山山開き

新日本百名山の七時雨山(1,063 に)山開きが、6月 3日、西根寺田コース登山口で行われました。

当日は、約100人が山開き式に参加。武田常徳副市 長から市旗などが登山隊員に手渡され、登山者は新緑 の山中を楽しみながら、山頂を目指しました。登頂を 万歳三唱で祝った後、市山岳協会から先着で記念絵馬 が贈られました。山田町から参加した佐藤ヒロ子さん は、「山の名前に引かれました。早起きして来たかい がありました」と山頂からの風景に感動していました。



恵まれた天候のなか登頂を祝い万歳三唱をする登山者

普段は目にすることがない車に注目が集まりました

名車旧車が焼走りに集合

2012ノスタルジックカーミーティング in IWATE

2012ノスタルジックカーミーティングinIWATE (同 実行委員会主催) が、6月17日、岩手山焼走り国際交 流村で開催されました。

会場には、国内外の旧車やスポーツカーなど約130台が展示され、憧れの車を一目見ようと、たくさんの来場者でにぎわいました。当日は、子ども連れの家族も多く、両親と来場していた矢幅隼人くん(大更小3年)は、「車は何でも好きです」と、さまざまな車に目を輝かせていました。

ふるさとへの思い深める

第6回八幡平ふるさと会の集い

第6回八幡平ふるさと会の集いが、5月27日、ホテルラングウッド(東京都)で開かれました。

当日は、会員や関係者など約250人が参加。ふるさと大使への委嘱状交付式も行われ、大使を代表し、八幡平ふるさと会の田村啓造会長が、田村正彦市長から委嘱状の交付を受けました。また、懇親会では、市の無形民俗文化財である「兄川先祓い」の披露や、盆踊り、出席者全員での「ふるさと」などの合唱を通し、郷土への思いを深めていました。



遠く離れた故郷を思い出しながら合唱しました



花と笑顔であふれる「花いっぱい運動」(6月13日、サラダファーム内)



実りの時期を期待して苗を植えました(6月1日、田頭小田植え体験)



最後の運動会で念仏剣舞を舞う子ど もたち(6月2日、東大更小運動会)

13 \$ (t-)